

# 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業 事後評価調書(案)

(採択大学)

大学名		機関番号	
学長名			
構想責任者	(氏名)	(所属・職名)	

事務担当者	(氏名)	(所属・職名)	
連絡先	(住所) 〒		
	(電話番号)	(E-mail)	

※事後評価調書の内容等について連絡のとれる事務担当者を記入してください(複数名の担当者がある場合でも代表者1名を記入してください)。

また、連絡先(E-mail)については、複数人で確認が可能なメールアドレスを記入してください。

大 学 名

[構想の概要](組み立て直し後修正変更版)

[取組実績の概要]

・拠点大学の国際化

・英語による授業のみで学位が取得できるコース

・留学生受入のための環境整備

・海外大学共同利用事務所の整備

・目標の達成状況

1. 取組状況及び成果【20ページ以内(英語コースの概要を除く)】

1-① 拠点大学の国際化

・学長のリーダーシップのもと、大学の目標や中期計画等において国際化を明確に位置づけるとともに、大学全体として国際化を戦略的に推進したか。

【取組状況及び成果】

・優秀な外国人教員の招聘や国際的な教育研究活動実績を有する日本人教員の採用、FD等の実施による教員の資質向上など教員体制の充実が図られたか。

【取組状況及び成果】

・国際化に対応した事務機能の強化及び事務職員の配置やSDによる能力向上などによる事務体制の充実が図られたか。

【取組状況及び成果】

・大学の国際化への取組等について、適切な評価・改善がなされたか。

【取組状況及び成果】

・海外の大学との単位互換や学位取得プログラム等による教育連携の充実のもと、日本人学生の海外派遣や、日本人教員の海外における教育研究活動への参加等が促進されたか。

【取組状況及び成果】

1-② 英語による授業のみで学位が取得できるコース

・コースの開設が計画通り進められたか。

【取組状況及び成果】

・開設されたコースにおける学生の確保や確保に向けた取組(特に、優秀な学生の確保のための取組やそのための改善の取組)が行われたか。

【取組状況及び成果】

・国際的な教育研究活動実績を有する教員の雇用等による教育体制の充実のもと、人材養成目的に沿った組織的・体系的なカリキュラム編成がなされたか。

【取組状況及び成果】

・質の高い研究内容に裏付けられた授業の実施、国際的通用性のある厳格な成績管理、教授法の開発や授業評価などによる教育改善など、教育の質の確保や向上への取組がなされたか。

【取組状況及び成果】

## 英語コースの概要

※構想調書(組み立て直し後修正変更版)において新設することとされた英語コースについて記載してください。

### 1. 総表(コース数及び学生数)

	全英語コース数		開設済英語コースに在籍する全学生数(実績) (括弧内はうち日本人学生数)	
	平成25年度末 (目標)	平成25年度末 (実績) (括弧内はうち目標に対するコース数)	H.25.5.1現在	H.26.5.1現在
学部		( )	( )	( )
大学院		( )	( )	( )

### 2. 学部

- ①「英語コースの名称」欄～「人材養成目的」欄について、構想時から変更になっている場合は、( )書で当初の名称等を記載してください。  
 ②「取組状況及び成果」欄には、募集者数、志願者数、入学者数、在籍者数について記載してください。  
 ③コース数に応じて適宜「行」を増やしてください。

英語コースの名称	学部・学科等名	人材養成目的	担当教員数 (括弧内はうち外国人教員数)		開設年月日
			( )	計画	
			うち専任	( )	実績

**【取組状況及び成果】**  
 ※平成25年5月1日、平成26年5月1日の在籍者数について下記のとおり実績を記載してください。  
 在籍者数：〇人(うち日本人学生〇人(うち帰国生〇名))(平成25年5月1日)※帰国生は、帰国生入試受験者等把握可能な者でかまいません。  
 在籍者数：〇人(うち日本人学生〇人(うち帰国生〇名))(平成26年5月1日)  
 未開設のものは平成25年度末までの準備状況について記載してください。その他、本英語コースの授業への聴講生や科目履修生等の実績についても可能な範囲で記載してください。

### 3. 大学院

- ①「英語コースの名称」欄～「人材養成目的」欄について、構想時から変更になっている場合は、( )書で当初の名称等を記載してください。  
 ②「取組状況及び成果」欄には、募集者数、志願者数、入学者数、在籍者数について記載してください。  
 ③コース数に応じて適宜「行」を増やしてください。

英語コースの名称	研究科・専攻等名	人材養成目的	担当教員数 (括弧内はうち外国人教員数)		開設年月日
			( )	計画	
			うち専任	( )	実績

**【取組状況及び成果】**  
 ※平成25年5月1日、平成26年5月1日の在籍者数について下記のとおり実績を記載してください。  
 在籍者数：〇人(うち日本人学生〇人(うち帰国生〇名))(平成25年5月1日)※帰国生は、帰国生入試受験者等把握可能な者でかまいません。  
 在籍者数：〇人(うち日本人学生〇人(うち帰国生〇名))(平成26年5月1日)  
 未開設のものは平成25年度末までの準備状況について記載してください。その他、本英語コースの授業への聴講生や科目履修生等の実績についても可能な範囲で記載してください。

※上記以外の英語コース(構想時開設済み又は構想調書(組み立て直し後修正変更版)には無く、採択以降に新設されたもの)については、必須ではありませんが、大学において必要と判断される場合は、以下に上記枠をコピーの上、記載していただいてもかまいません。

大学名 \_\_\_\_\_

1-③ 留学生受入のための環境整備

受入重点国	海外拠点の設置年月日	海外拠点における取組内容等 (教職員の配置、施設・設備等も記入)
	設置場所(都市名、施設名)	
	予 定: 実 績: ----- 都市名: 施設名:	
	予 定: 実 績: ----- 都市名: 施設名:	

※構想調書に記載した受入重点国の状況についてすべて記載してください。欄が足りない場合は適宜増やしてください。

・海外拠点の設置が計画どおり進められたか。

【取組状況及び成果】

・受入重点国等において優秀な学生を確保するための取組が積極的に行われ、留学生の受入が促進されたか。

【取組状況及び成果】(受入重点国とそれ以外の国に分けて取組状況及び成果を記載してください。)

・留学生に対する生活面での支援(宿舍、カウンセリング、学内文書の英語化など)、経済的支援(奨学金など)、就学に対する支援(日本語、日本文化に関する質の高い学習機会の提供、教育支援員等の配置など)や就職支援(インターンシップ、セミナーの開催など)について充実した取組が行われたか。

【取組状況及び成果】

1-④ 海外大学共同利用事務所の整備(本事業で整備した事務所)

海外大学共同 利用事務所の名称 〔設置年月日〕	設置国・設置場所	教職員の配置	施設・設備の概要
〔予定:           〕 〔実績:           〕			

・事務所の施設・設備や体制が計画どおり整備されたか。

【取組状況及び成果】

・我が国の大学の情報発信や学生募集を行う大学のワンストップサービス業務などの支援が積極的に行われたか。

【取組状況及び成果】

・積極的な広報活動などにより、事務所の施設・設備・機能の共同利用が図られたか。

【取組状況及び成果】

1-⑤ 留意事項への対応等

・国際化拠点整備事業(グローバル30)審査結果及び大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業中間評価結果における留意事項への対応を適切に行ったか。

留意事項欄(審査結果及び中間評価結果において留意事項がある場合は、本欄に留意事項の内容を転載してください。)

【審査結果】

【中間評価結果】

【取組状況及び成果】

・①～④の項目以外に特記すべき成果があったか。

【特記すべき成果】

## 2. 目標の達成状況【5ページ以内】

事項	計画時 (H.20.5.1現在)	平成25年度末 (目標)(a)	平成25年度末 (実績)(b)	差 (b-a)	平成32年度末 (目標)
留学生受入	留学生数(A)	—			
	うち博士課程 在籍者	—			
	うち修士課程 在籍者	—			
	うち学士課程 在籍者	—			
	上記以外 (短期留学生、 研究生等)	—			
	(A)のうち 在留資格が「留 学」の者				
全学生数(B)					
留学生比率 (A/B)	—				
留学生受入に 関して実施する取 組	【平成22年度末に おける計画】 ※構想調書から転載	【平成25年度末に おける計画】 ※構想調書から転載	【平成25年度末における実績】		【平成32年度末に おける計画】 ※構想調書から転載
事項	計画時 (H.20.5.1現在)	平成25年度末 (目標)(a)	平成25年度末 (実績)(b)	差 (b-a)	平成32年度末 (目標)
外国人教員数 (C)					
全教員数(D)					
外国人教員比率 (C/D)					
外国人教員 外国人教員の配 置促進に関して 実施する取組	【平成22年度末に おける計画】 ※構想調書から転載	【平成25年度末に おける計画】 ※構想調書から転載	【平成25年度末における実績】		【平成32年度末に おける計画】 ※構想調書から転載

海外有力大学との連携プログラムの新たな実施	【平成22年度末における計画】 ※構想調書から転載	【平成25年度末における計画】 ※構想調書から転載	【平成25年度末における実績】		【平成32年度末における計画】 ※構想調書から転載
	計画時 (H.20.5.1現在)	平成25年度末 (目標(a))	平成25年度末 (実績(b))	差 (b-a)	平成32年度末 (目標)
大学間交流協定等に基づく交換留学の拡大	派遣				
	受入				
	【平成22年度末における計画】 ※構想調書から転載	【平成25年度末における計画】 ※構想調書から転載	【平成25年度末における実績】		【平成32年度末における計画】 ※構想調書から転載
日本人教員の海外における教育研究活動への参加促進	【平成22年度末における計画】 ※構想調書から転載	【平成25年度末における計画】 ※構想調書から転載	【平成25年度末における実績】		【平成32年度末における計画】 ※構想調書から転載

### 3. 今後の展開及び高等教育の国際化に対する貢献【2ページ以内】

- ・補助事業期間終了後についても、取組の継続性を確保し得る体制や明確な計画があり、継続的な活動が自主的・恒常的に行われることが期待できるか。
- ・我が国の高等教育の国際化の発展に貢献することが期待できるか。

#### ①拠点大学の国際化について

#### ②英語による授業のみで学位が取得できるコースについて

#### ③留学生受入のための環境整備について

#### ④海外大学共同利用事務所の整備について

#### ⑤その他高等教育の国際化に対する貢献について



# 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業 事後評価調書(案)

(推進事務局)

大学名		機関番号	
学長名			
構想責任者	(氏名)	(職名)	

事務担当者	(氏名)	(所属・職名)
連絡先	(住所) 〒	
	(電話番号)	(E-mail)

※事後評価調書の内容等について連絡のとれる事務担当者を記入してください(複数名の担当者がある場合でも代表者1名を記入してください)。

また、連絡先(E-mail)については、複数人で確認が可能なメールアドレスを記入してください。

大 学 名

[構想の概要](組み立て直し後修正変更版)

[取組実績の概要]

1. 取組状況及び成果【2ページ以内】

・推進事務局として、必要な体制・環境が整備され、取組が積極的に行われたか。

【取組状況及び成果】

## 2. 今後の展開【2ページ以内】

・補助事業期間終了後についても、採択大学の推進事務局としての継続的な活動が自主的・恒常的に行われることが期待できるか。